

岩手県 軽米町議会
議会だより

かるまい

No. 223

令和2年10月28日発行

主な内容

👉 特集 決算

令和元年度決算を認定

👉 9月定例会 一般質問に6人登壇

👉 検証追跡 認定子ども園開園へ

👉 インタビュー「かるまい町に住んでみて」

2

15

23

24

今回の表紙は 昼休み

軽米小学校の子どもたちは、走ったり遊具で遊んだり、たくさんの子が外へ出て、仲良く元気に遊んでいました。

令和元年度の各会計決算すべて

特集
元年度決算

認定

問われた行政対応と職員意識

繰り返された不祥事 議会での質疑と視点

- Q** 不祥事を起こした職員に対する今後の処分は。
- A** 職員として失態はあったが、個人としての人権は守られなければならないということを踏まえ、的確に厳正に処分を検討したい。
- Q** 町民や議会に対する報告が遅い。
- A** こういったときにどう発表するかという基準等を持ち合わせていなかった。何か事案があった際、どう発表するか検討したい。
- Q** 指導・監督のために副町長が必要では。
- A** 必要と判断したときに選任したい。

ぎかいの視点

副町長不在も要因の一つ

今回起きた不祥事は、職場環境や副町長不在など、様々な要因が考えられます。7年前に起きた不祥事の教訓は、これまでどのように生かされてきたのか疑問を感じざるを得ません。中でも副町長不在については、これまでも一般質問や特別委員会で質疑があり、早急な選任を求めるも不在のまま。より一層、職員を指導する立場として、副町長の早急な選任が求められます。

町は町民からの信頼を大きく失いました。職場環境や町民に対する姿勢を改め、町民からの信頼回復に努めていただくことを切望します。



女性：50代

自分がどういうことをしてしまったかという意識と責任が欠けていると感じる。公務員として、はじめにつけたほうがいいと思う。



女性：60代

信頼し期待もしていただけに、個人としての責任は当然、組織として防げなかった責任もある。また、発覚から報告までが遅すぎて不信感がある。

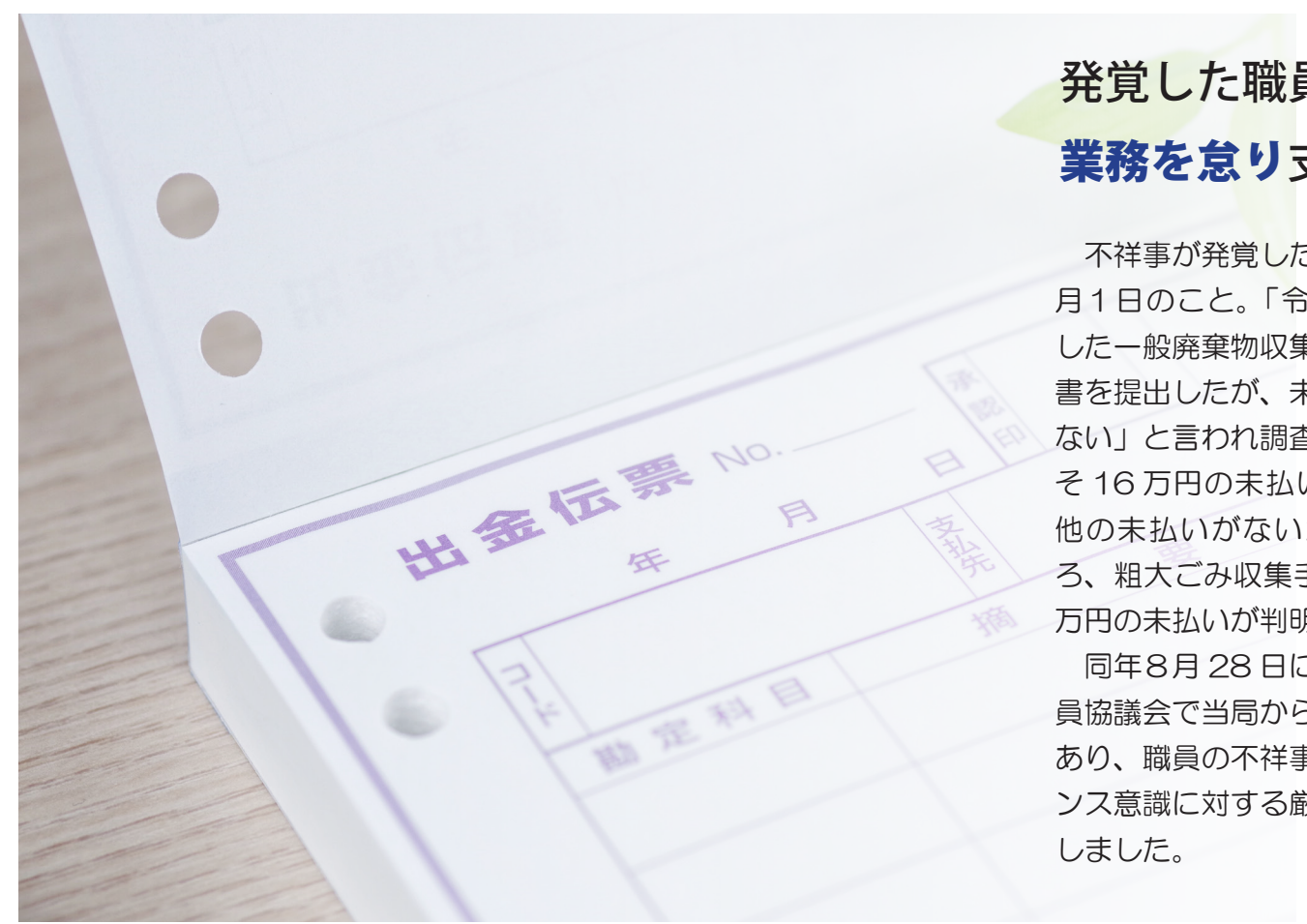
9月定例会（第12回定例会）は、9月1日から15日までの15日間の会期で開かれ、令和元年度一般会計と特別会計、水道事業会計の決算について認定しました。ほかに教育委員任命への同意や補正予算2件、工事請負契約の締結3件など提案された議案14件すべてを可決しました。

今回の特集では、今定例会で報告された町職員の不祥事について、町の対応と未然防止策について考えます。

発覚した職員の不祥事 業務を怠り支払い遅延

不祥事が発覚したのは令和2年6月1日のこと。「令和元年度に納車した一般廃棄物収集運搬車両の請求書を提出したが、未だ支払われていない」と言われ調査した結果、およそ16万円の未払いが判明。また、他の未払いがないか調査したところ、粗大ごみ収集手数料およそ96万円の未払いが判明。

同年8月28日に行われた議員全員協議会で当局から議会への報告があり、職員の不祥事やコンプライアンス意識に対する厳しい質疑が集中しました。



施設建設と今後の行方

令和元年度は、「かるまい斎苑」や「新萩田2号団地」の建設、「かるまい交流駅」の工事用道路の整備など、ハード事業と呼ばれる大きな事業がいくつか行われました。ここでは、事業にいくらの費用を要したのか、事業に対する町民の声をご紹介します。



ハード事業がたくさん！

2億9505万円

「かるまい斎苑」ついに完成

昭和51年に建設された老朽化の著しい火葬場の更新のため、元年度予算で新しい火葬場「かるまい斎苑」を新築。令和2年4月から供用を開始しました。

新築工事 2億8545万円
備品購入 959万円



旧火葬場は、解体工事が行われています（写真はかるまい斎苑）



議会では9月7日に、完成したかるまい斎苑の現地視察を行いました

2億円

いちい荘整備へ補助、完成へ

特別養護老人ホームいちい荘を新たに整備するため、町は社会福祉協議会へ2億円を補助。本年7月に落成式が行われ、入所者は7月15日から利用を開始しています。



完成後には一般公開も行われました

2億389万円

着々と建設・移転が進む

令和元年度は戸建て5棟と長屋1棟を建設。今年度も同様の数を建設し、来年度早々に萩田住宅と、下新町住宅の一部の入居者の方が移転を予定しています。



写真は、新萩田2号団地

問 現在の状況は、今年度の計画は、向川原住宅と新町住宅は、すべて移転が完了し、空き家は今年度に行いたい。

答 向川原住宅と新町住宅は、すべて移転が完了し、空き家は今年度に行いたい。

3417万円

交流駅建築に向け町道を整備

令和4年10月に完成予定の、かるまい交流駅（仮称）。令和元年度は、交流駅建設工事のための工事用道路を整備しました。関連 p 12,14



この町道は、交流駅完成後に供用を開始します



男性：30代

体育施設が、か所にまとまっていれば、利用しやすい。臨時職員任せではなく、正職員が責任をもって管理してほしい。



女性：60代

完成したらぜひ行きたい。買い物や休憩、バスに乗るには、物産交流館のほうが便利なので、今後も利用したい。



子育てガイドブック▲
町が実施している
子育て支援は、子育て
ガイドブックをご
覧ください。



子育て支援日本一を目指す町として、多くの子育て支援が展開、拡充され、子育て世帯への手厚いサポートに努めました。また、予防接種の助成や健康診査の実施など、町民の健康保持・増進にも努めました。ここでは、各支援・助成の実績と内容、さらなる拡充に向けた議員から町への質疑を紹介します。

地域福祉と子育て支援

問 家庭から学校までを送迎し、子どもが町を歩かないといふのは非常に殺風景と感じる。町の大切な財産としての考え方があっていいのでは。

答 バスの待ち機や乗り降りの際の危険など、課題が多い。子どもが町を歩く方法を考えたい。

1億8813万円

通学手段確保とエアコンを整備

11路線のスクールバスの運行を委託し、児童・生徒の通学手段を確保。また、町内各小中学校の普通教室等に冷房設備を整備し、熱中症対策に努めました。

スクールバス	5123万円
冷房設備設置	1億3690万円

結婚支援と少子高齢化対策

町の喫緊の課題である、未婚・晩婚化と少子高齢化、そして人口減少。課題解決のための支援が多く展開されました。議会は、支援の拡充と実績の向上を求めました。

106万円

昨年は4組に助成

結婚新生活支援

少子高齢化対策の強化として、婚姻に伴う新生活を支援。新規に婚姻した世帯に対し、住居費・引越費用の合算額で30万円を上限に助成しました。



◀結婚新生活支援事業HP
助成の対象や、必要な書類のダウンロードは、こちらをご覧ください。

60万円

商品券5万円×12組

さわやかカップル祝金

町内在住者が婚姻し、婚姻後も軽米町内に1年以上居住する意思のあるカップルに、結婚のお祝いとして祝金を支給しました。

問 12組という実績は少ないと思うが、いかがか。

答 中長期の方で、生活基盤を築けるような雇用、結婚に至る方、増加した。

1689万円

予防接種で健康保持

感染のおそれがある病気の発生の抑制と蔓延防止のために予防接種を行い、町民の健康保持に努めました。

2年度からは2回目のインフルエンザ予防接種の助成も行っています。



※インフルエンザ予防接種は、65歳以上、生後6か月～高校生の方が対象です。



女性：40代

結婚や子育てへの手厚い支援があり、ありがたい。すこやかベビー祝金は、第1子からあってもいいと思う。町としてもつと婚活に力を入れてはどうか。

登録料助成で婚活をサポート

問 町の登録状況は。

答 入会登録者が10名、しかし現在は3名。結婚が成立した方はまだいない。申込みが1件あった。



◀軽米町HP (iサポ申請等)
町ではiサポへの登録料全額を助成しています。

103万円

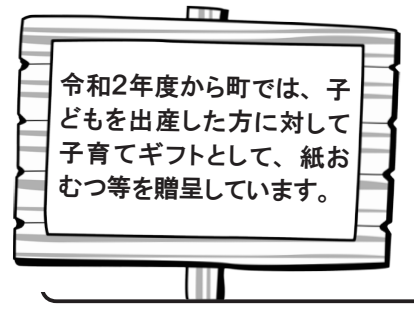
すこやかベビー祝金

出産者に対し、第2子3万円、第3子5万円、第4子10万円（うち5万円は現金）の商品券を祝金として支給しました。

令和元年度の支給実績は？

第2子…	11人	33万円
第3子…	6人	30万円
第4子…	4人	40万円

問 祝金のほかに、お祝い品は、第1子だけではなく全員にあげているのか。



令和2年度から町では、子どもを出産した方に対して子育てギフトとして、紙おむつ等を贈呈しています。

答 子育て世帯に代包括支援センターめぐるの事業として、第1子だけではなく妊産婦の方全員にあげている。

2423万円

プレミアム付商品券

令和元年10月からの消費税引上げの影響の緩和と、消費を喚起・下支えするために、住民税非課税者と子育て世帯に交付、販売しました。（1組5千円分を4千円で販売）

販売実績は？

住民税非課税者	767人	1万7030枚
子育て世帯	54人	1370枚

町の発展と安全・防災

秋祭り等のイベント開催により、町の活性化と賑わい創出に努めました。また、大規模太陽光発電施設の軽米西・東ソーラーが稼働を開始し、町へは自然のめぐみ基金へ積み立てされる寄付金が入ることとなりました。消防団活動や町道整備も行い、町の防災対策や交通安全の確保にも努めました。



軽米町防災マップ▲
新たに発行された
防災マップは、町
ホームページでも見
ることができます。



1423万円

防災意識の高揚

消防技術の向上や地域住民の防災意識の高揚を図りました。小型動力ポンプ付積載車を更新し、消防力の強化と災害に強い町づくりの推進を図りました。

①消防操法競技会	110万円
②消防演習	129万円
③防災訓練	117万円
④小型動力ポンプ付積載車更新	1067万円

問 自主防災組織の設置状況は。
答 地域型の組織は現在10地区。小玉川地区で組織結成に向け、地域内で検討している。



防災活動

問 売電収入の一部が自然のめぐみ基金に積み立てられるとのことだが、収入の何%か。
答 協定書を結んでおり、毎年同じ金額をいただく。元年度は年度途中に稼働したので日割り計算だが、来年度からは、西ソーラーは300万円、東ソーラーは500万円を寄付金としていただける。



メガソーラー

427万円

基金を積み立て

昨年7月から稼働している西ソーラーと、12月から稼働している東ソーラーの売電収入の一部が、町への寄付金として寄付されることになっており、町は自然のめぐみ基金への積み立てを行いました。

自然のめぐみ基金…農林業の発展のための施策や、地域活性化対策の推進に充てられる財源

1億2156万円

町道の改良工事

未改修箇所の整備を行うことにより、地域住民の交通安全確保と交通の利便性向上を図りました。

①軽米高家線	2374万円
②赤石峠小玉川線	1704万円
③みそころばし竹谷袋線	1591万円
④参勤街道線	1503万円
⑤大町下新町線	3417万円
⑥蛇口蜂ヶ塚線	1567万円

問 せっかくできた道路を、知らずに通り過ぎてしまふ人が多いのではないかと。標識等の道しるべがあれば親切ではないか。
答 交通量が多曲がってしまふ道路が多いというところであれば、管理者として考えなければなら

町道整備



町の活性化



2818万円

（株）軽米町産業開発HP▶



（株）軽米町産業開発へ委託

ミレットパーク、ミル・みるハウス、雪谷川ダムフォリストパーク、軽米町物産交流館の4施設は開所当初から施設管理を委託しており、施設の適正管理と来客者へのサービス向上に努めました。

問 これまでの議会接客が、悪いと言われてきたが、どのような教育を行ったか。
答 お客様あつての商売というのを各施設で話をしていく。本社の社員も現場に入り、一緒に声出しを実践している。商品の補充やお客様に対する説明など、本社が指導しながら一緒に取り組んでいる。

お土産として町が作っている商品をよく買うので、さらなる商品開発に期待しています。何か目新しいイベントを行うことで、町の活性化につながるのではないだろうか。



女性：20代

コロナ禍で行事の中止が続き、市日の人出も少なく、町はさびしくなっています。町長の出張が少ないのであれば、町内を回り、町民の声を聞いたり町の隅々を見て町づくりに生かしてほしいです。



女性：60代

国民健康保険特別会計

反対 社会保障の原則に反する

江刺家静子 議員
盛岡市では、該当する方と納付の約束をし、短期ではなく1年間の保険証を発行している。滞納分を自主的に減らす努力をし、滞納が増えることはないとのこと。滞納者へのペナルティーは、社会保障の原則に反するため、短期保険証の発行に反対する。

反対 効果がない、別の方法を

山本 幸男 議員
短期保険証の発行状況は3年間変わっていない。変わっていないということは、効果がなかった。違う方法でなければ効果がないということにならないか。短期保険証を発行しないで対応すべき。町民の心情を考え、短期保険証の発行に反対する。

賛成 財源確保に一定の努力が

上山 誠 議員
夜の健康教室の開催や特定保健指導実施など、住民への健康づくりを働きかけ、保険給付の適正化に努めている。また、短期保険証の発行により滞納者との対話の機会を確保するなど、保険税の滞納の解消に努めている。法定外繰入れを実施することなく、そして保険者としての財源確保にも一定の努力が見られるため賛成する。



10月8日に町民体育館で、男性限定の短期集中運動講座が開催されました

監査委員の意見

未然防止と改善をし
職員の意識の向上を

町の財政は、現時点での将来支払っていく負担の度合いは良好と言える。公共施設の建設や少子化・人口減少対策など、新たな課題や行政需要の発生も見込まれるが、持続的で安定した行政サービスを提供するために、引き続き財政の健全化に努めてほしい。また、職員の不祥事の未然防止に向け改善策を講じ、常日頃からコンプライアンス意識の向上に取り組み、事務事業の執行過程のチェック体制の充実を図ることを切望する。



たけした みつお
竹下 光雄
代表監査委員

白熱した議論の末
認定

令和元年度 一般・特別会計決算討論

一般会計

反対 教訓が生かされていない

中村 正志 議員
7年前に固定資産の未評価等の不祥事があったが、その教訓が6年間の職場環境の中で生かされてきたのか。町民から負託され、議員の使命である町政の監視機能を放棄することになるため反対する。

反対 公約を実現できていない

江刺家静子 議員
町長の公約である、「子育て支援日本一の町」や、保育施設と小中学校の給食完全無料化が実現できていない。また、屋外の子どもの遊び場づくりも実現していない。他市町村に後れを取っているのでは。

反対 隠ぺい体質は容認できない

山本 幸男 議員
6月に職員の不祥事が発覚してから今まで説明がなかった。町の隠ぺい体質は容認できない。また、町が出資している(株)軽米町産業開発が、700万円の赤字を出したことは、社長である町長が深く反省すべき。

賛成 町民の生活環境の向上に

上山 誠 議員
火葬場建築などの大規模事業や、子育て世代包括支援センターめぐる開設など、ハード・ソフト面にわたり、町民の生活環境を向上させる施策が行われた。不祥事にのみ着目し、令和元年度一般会計の決算そのものが否定されるべきではないと考える。

賛成 町政進展が行われている

田村 せつ 議員
新規・継続施策を通じて、幅広い福祉政策が繰り広げられた。学校給食への助成など、子育て支援日本一の町づくりに向けた事業も着実に執行された。町政進展が着実に実行されていることは評価すべきであり、賛成する。



子育て支援日本一を目指す町として、今後の子育て支援の拡充に注目です

令和元年度会計別決算の状況

会計区分		歳入（収入）	前年度比較	歳出（支出）	前年度比較	結果
一般会計		65 億 5228 万円	1 億 224 万円	63 億 3382 万円	1 億 6257 万円	認定
特別会計	国民健康保険	11 億 3641 万円	△ 4249 万円	10 億 9723 万円	△ 6239 万円	認定
	下水道事業	1 億 4606 万円	△ 1050 万円	1 億 4140 万円	△ 1058 万円	認定
	介護保険	5133 万円	△ 1129 万円	4921 万円	△ 1145 万円	認定
	後期高齢者医療	9482 万円	438 万円	9458 万円	441 万円	認定
	特別会計の合計額	14 億 2864 万円	△ 5989 万円	13 億 8243 万円	△ 8001 万円	—
水道事業会計	収益的	3 億 7338 万円	△ 1174 万円	3 億 4316 万円	△ 2531 万円	認定
	資本的	8352 万円	△ 205 万円	2 億 4804 万円	2128 万円	

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てていますので、合計とは一致しません。

《 9 月定例会 》

皆さんからの請願・陳情と審査結果

【請願陳情第 6 号】

- * 件名：「教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 の復元を求める請願書」
- * 要旨：新学習指導要領への対応や貧困、いじめなど解決すべき課題が山積み。豊かな学びや学校への働き方改革を実現するには教職員定数改善が不可欠
- * 請願者：岩手県教職員組合県北支部
支部長代行 小関 高博
- * 紹介議員：山本 幸男、中村 正志



全会一致

意見書提出

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

【請願陳情第 7 号】

- * 件名：「緊急経済対策として消費税率を 5 % に引き下げを求める請願書」
- * 要旨：消費税率 10 % に新型コロナ禍が追い打ちをかけ、中小事業者にとって多大な負担となっている。コロナ禍による経済の縮小は、廃業・倒産に追い込んでいる
- * 請願者：岩手県労働組合連合会
議長 金野 耕治 ほか 6 団体
- * 紹介議員：江刺家 静子

継続審査

総務教育民生
常任委員会

一部反対も、全議案を可に

議案第 4 号令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定では、4 月から始まる認定こども園に関連した幼稚園の再利用、新たに発行された防災マップについて町民に対する説明が必要等の質疑があった。

議案第 10 号一般会計補正予算では、(株)軽米町産業開発の赤字経営が続いており、人員の増強と売上原価等の改善など、経営改善に

努めるといった議論がされた。

職員の非違行為に対して、議会や町民への報告が遅い、副町長の選任が早急に必要ではないかなど、再発防止とコンプライアンス意識の徹底を求めた。

一部反対のあった議案第 4 号と 5 号、12 号から 14 号の 5 件は賛成多数で、他の議案は全会一致で可と決した。

【委員長報告】



茶屋 隆
特別委員長

賛否が分かれた議案等の表決一覧 (賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議員名	上山 誠	西舘 徳松	江刺家 静子	中村 正志	田村 せつ	館坂 久人	大村 税	本田 秀一	細谷地 多門	山本 幸男	茶屋 隆	(※) 松浦 満雄	賛成	反対	結果
議案④ 元年度一般会計決算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	△	8	3	認定
議案⑤ 元年度国民健康保険特別会計決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	△	9	2	認定
議案⑫⑬⑭ 建築工事の請負契約の締結	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	△	9	2	可決

(※) 議長は通常、採決には加わらない。

議会の傍聴にお越しく下さい

次回の定例会は

12月3日に開会予定です

7/31

第 11 回臨時会

【議案①】

一般会計補正予算 (第 4 号)
新型コロナウイルス感染症対策に伴う支援や体温計測機器 (A I サーマルカメラ) 等の備品の購入、町内各小中学校での情報通信ネットワーク環境施設工事等のため、歳入歳出総額 1 億 9112 万円を補正。

令和 2 年度一般会計予算の補正

議案
第 10 号

落石を防止し安全な道路に



総額 3 億 2236 万円を補正
災害防止柵設置

この町道下晴山貝喰線は、主に竹谷袋地区の方々が、生活道として使われる町道。昨年、町道への落石が相次いだため通行止めにしていましたが、今回の補正予算により、災害防止柵を設置します。

災害防止柵等対策工事	3 億 8 9 6 万円
詳細設計業務委託費等	8 4 0 万円
用地取得費等	5 0 0 万円



9 月 7 日に現地を視察。道路には無数の大きな落石がありました

会計別歳入歳出予算 (9 月 15 日現在)

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計⑤	3 億 6443 万円	83 億 9196 万円
国民健康保険②	3072 万円	11 億 9222 万円
特別会計		
後期高齢者	—	9770 万円
介護保険	—	3300 万円
下水道事業	—	1 億 6100 万円

※金額はすべて 1 万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

議案
第 12 号
第 13 号
第 14 号

建築工事の請負契約 3 件

交流駅事業の進め方に賛否の討論 関連 p.4,14

反 対 事業の進め方に反対

江刺家 静子
議員

構想から 6 年以上経ち、人口減少、高齢化、商店も減少。コロナ不況がどこまで続くかわからない。仲町の物産交流館は存続するのか。財源や水害の心配の声に応え、町の賑わいを町民とともにという観点が不足しているのではないかと。

賛 成 町の活性化に必要な事業

田村 せつ
議員

平成 29 年から百人委員会や隣接者説明会等での意見、住民の意見を反映させるため、十分に時間をかけて策定された計画。子育て支援機能等を備えた多世代が多目的に交流できる施設であり、今後、軽米町の活性化を図る上で必要な事業であるため賛成する。

第12回定例会 6人が登壇

一般質問

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・同一項目についての再質問は2回までできます
- ・時間の制限はありません



中村 まさし (17ページ)

- ・一般県道二戸軽米線の整備のその後の進捗状況
- ・スポーツ施設の管理運営と有効活用

- ・町の水道未整備地域



山崎 まこと (16ページ)



山本 ゆきお (19ページ)

- ・かるまい交流駅
- ・デイサービス

- ・子育て支援
- ・保育施設のコロナ感染症対策



田村 せつ (18ページ)



江刺家 静子 (21ページ)

- ・少人数学級の実現と
そのための教員確保
- ・鳥獣被害の調査と防止
- ・児童クラブ利用者の負担

- ・副町長不在と
今後の行政運営



茶屋 たかし (20ページ)

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
※質問・回答の全文は会議録形式で、町議会ホームページにてご覧いただけます。
(ホームページに掲載されるまで、議会の閉会からおよそ1～2ヵ月かかる場合があります)



◀ 町議会HP
QRコード

◀ 9月定例会 ▶

採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
同意案①	固定資産評価審査委員の選任〔大村光恵氏（下円子下組）に同意〕	同意 (全員賛成)
同意案②	教育委員の任命〔工藤健三氏（本町）に同意〕	
諮問①	人権擁護委員の推薦〔笹山結実男氏（新井田）を推薦〕	適任 (全員賛成)
議案①	町議会議員及び町長の選挙運動の公費負担に関する条例 〔選挙運動用の公費負担等を規定する新たな条例を制定〕	可決 (全員賛成)
議案②	軽米町総合発展計画策定条例〔現在策定中の令和3年度を始期とする総合発展計画の策定方針等基本的事項を明確にするため、新たな条例を策定〕	
議案③	手数料条例の一部改正 〔通知カードの廃止により、条例から通知カード再交付手数料の規定を削除〕	
議案④	令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 63 億 3,382 万円〕	認定 (賛成多数)
議案⑤	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 10 億 9,723 万円〕	
議案⑥	令和元年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 1 億 4,140 万円〕	認定 (全員賛成)
議案⑦	令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 4,921 万円〕	
議案⑧	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 9,458 万円〕	
議案⑨	令和元年度水道事業会計決算の認定及び利益の処分 → P10 参照	可決 (全員賛成)
議案⑩	令和2年度一般会計補正予算（第5号） 〔3 億 6,443 万円を増額し、総額 83 億 9,196 万円に〕	
議案⑪	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算 〔3,072 万円を増額し、総額 11 億 9,222 万円に〕	
議案⑫～⑭	かるまい交流駅（仮称）建設工事の請負契約の締結 〔 ⑫建築工事の請負契約 15 億 8,180 万円 ⑬機械設備工事の請負契約 5 億 2,800 万円 ⑭電気設備工事の請負契約 3 億 8,381 万円 〕	可決 (賛成多数)
請願陳情⑥	教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 の復元を求める請願	採択 (全員賛成)
発議案①	教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 〔請願陳情⑥に関連し、政府関係機関に意見書を提出するもの〕	可決 (全員賛成)
発議案②	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い地方財源の確保を求める意見書 〔政府関係機関に意見書を提出するもの〕	
発議案③	人口減少・少子化対策調査特別委員会の設置 〔本町の人口減少・少子化対策に関し調査・検討するために設置するもの〕	
	総務教育民生常任委員会の閉会中の継続審査 〔請願陳情⑦の継続審査〕	
	委員会の閉会中の所管事務調査 〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	可決 (全員賛成)
	人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	



上村 正人

水道未整備地域

問 飲用井戸設置への補助を

町長 他市町村を参考に支援制度を前向きに検討

【問】 今後、水道未整備地域への整備計画はないのか。
【町長】 平成21年度に策定した、軽米町水道事業基本計画では、老朽化している既存施設の更新を優先しなければならぬ状況。現在のところ、具体的な未給水区域の整備計画策定には至っていない状況。

【問】 現時点で水道未整備地域への整備計画がないのであれば、井戸掘りやボーリング工事費用等の飲用井戸等設置費用補助が必要ではないか。
【町長】 自家水道整備の助成制度を行っている他の市町村を参考に、自家水道整備に関わる支援制度を前向きに検討していく。



水道未整備地域への支援制度の制定に期待が高まります
(写真はイメージです)

【問】 水道整備地域でも条件等が悪く、未接続の世帯は何か世帯あるのか。
【町長】 給水区域だが条件が悪く、未接続となっているのが16世帯となっている。
【問】 水道未整備地域への町長の考えは。
【町長】 すべての町民

が平等に水道サービスを受けられるべきと考えている。しかし、水道老朽施設の更新は最優先で行わなければならない。当面の間は自家水道の整備に対する支援制度を立ち上げ活用していただき、引き続き軽米町上下水道の全体の効率的な運営を踏まえて検討したい。



軽米町水道事業所軽米浄水場

一般県道二戸軽米線

問 整備の進捗状況は

町長 関係地権者に説明会を実施



中村 正志

【問】 一般県道二戸軽米線の整備の進捗状況は。
【町長】 地域住民からの整備要請を岩手県に対する要望の最重要課題と捉え、改良整備を強く要望してきた。岩手県は事業化に向け、昨年度は予備設計を実施。事業導入に先立ち、本年7月28日に関係地権者に対する道路事業説明会が開催された。
【問】 今後路線計画を推進するにあたり、どのようなスケジュールか。
【町長】 令和2年10月頃から現地の測量と詳細の設計に着手。3年度に用地測量調査を行い、用地交渉が順調に進めば、5年度から工事着手。9年度には完成の計画とされている。



町民体育館は、町内のスポーツ少年団や部活動、屋内競技の団体、個人利用など多くの町民が利用しています

【問】 昨年度のスポート施設に要した維持管理費やその費用対効果、使用実績などの検証結果は。
【教育長】 屋内の施設は約2万5千人、屋外の施設は約2万人が利用し、維持管理費は総額4520万円要している。町のスポーツ振興のためには維持管理の継続が必要と考える。多額の維持経費が必要となるが、状況に応じて改修等を行い、町民が安全にスポーツに親しめる環境の維持と利用促進に努めてまいりたい。
【問】 町単独で施設経営は町予算によるのか。
【町長】 町単独

の財政を圧迫、町民の税金支出の負担になっているか。
【教育長】 施設利用の多くは部活動やスポーツ少年団、体育協会に加盟している団体の練習活動であり、利用者の負担軽減のために施設利用料の一部を減免している。個人利用料金は、利用しやすい施設とするために低額に定めている。
【問】 健康福祉課との連携を強化し、町民の健康づくりが行われるべきでは。
【教育長】 教育委員会では、高齢者教室では、パークゴルフ等のスポーツ体験や健康づくり講座等、軽スポーツに親しみながら地域の仲間づくりを進める活動など、健康福祉課と連携して開催している。



かるまい交流駅（仮称）建設

問 構想の見直しが必要では

町長 コロナの影響は少なく完成は3年後

問 コロナの影響は、町内に与える影響も大きい。構想の縮小や見直しなど、検討に値するのであれば対応を。

町長 コロナは徐々に収束していくと感じている。完成が3年後

問 新設・既存の道路の通行止めや民家、景観、交通安全に心配はないか。

町長 工事期間中は交通整理員を配置して交通の安全確保に努め、できる限り交通規制を行わずに建築工事を進めたい。また、仮囲い設置のほか低騒音、低振動の工法を選定し、周辺住民に配慮した設計となっている。景観と交通安全対策については、関係機関と協議し、いずれも承認済みである。



今年度からはいよいよ本体工事に着手します

問 町民に元気をあたえてもらうために、「湯っこ」を考

えらうかがか。

町長 財源の確保や建設予定地の選定等を総合的に検討し、今後建て替えが必要となる公共施設の整備と併せ、社会福祉施設と併設した整備等を検討したい。

問 認知症カフェは1回のみの開催か。それとも毎月計画されているのか。

町長 健康福祉課総括課長が今後も継続して行いたい。今年度の計画は2

認知症カフェとは

認知症の方やその家族・地域住民・介護施設等で働く専門職の方々が集まり、認知症についての勉強会や、認知症の理解を深めることを目的にカフェとして開催しているもの。



どう支えていくかをお茶を飲みながら話し合い、認知症の理解を深めることを目的にカフェとして開催しているもの。

デイサービス

問 デイサービスの廃止決定後、役場やふれあいセンターで何か対応していることはあるか。

町長 訪問介護事業と居宅介護支援事業は、町中心部及び事業所がなくなることに

子育て支援

問 第1子出産へ記念品を贈呈しては

町長 子育てギフトを贈呈している



新生児も必ず必要となる爪切り等の祝い品の追加も求められます（写真はイメージです）

問 子育て支援の金、出産祝い金、初めての出産の労をねぎらう意味を込めて、記念品を贈呈してはどうか。

町長 子育て世代包括支援センターめぐかるでは、妊娠期には妊婦健診や妊婦歯科検診等の助成、今年度からは妊婦健診の交通費助成の実施など、様々なサポートを行っている。

保育施設の感染症対策

問 日常の保育において、消毒等の感染症対策はどのようにしているのか。

町長 手洗いや手指の消毒の指導、おもちゃ・遊具をはじめとする、施設内の消毒を徹底している。また、運動会等の行事は、中止または内容を縮小した。家庭では、登園前に健康チェックをお願いし、職員に対してはこまめな換気と、健康管理に配慮している。

問 保育士等の人員は足りているのか。

町長 現場の声をよく聞きながら、総合的な判断をしたい。



問 保育現場を疲弊させないよう、コロナ禍を機会に保育現場の現状を見直し、余裕のある人員配置にしているかどうか。

町長 現場の声をよく聞きながら、総合的な判断をしたい。





少人数学級の実現と教員確保

問 少人数学級への予算措置を

教育長 町独自で指導の充実を図っている

問 町の将来と子どもたちの将来を見通して教員を増やし、また、町独自の予算で支援員を増員

【教育長】 町内で20人を下回る学年は、小軽米、晴山小学校は全学年。軽米小学校は4学年と5学年が2クラス編成のため20人以下となっており、残る学年と中学校は20人を上回る。各学校では感染症予防対策に努めており、教室内の席の配置や予防については、国が示した基準を基に工夫のある対策に努めている。

問 子育て支援と保育料の無料化を求めるがいかがか。

【町長】 現在の児童クラブの保育料は、入所児童1人につき5千円としているが、生活保護世帯は全額免除としている。また、母子世

児童クラブ

問 児童クラブの無料化を

町長 総合的に検討したい

帯及び父子世帯かつ、前年度分の町民税非課税世帯や同一世帯2人以上の入所の場合に第2子以降を5割軽減としている。児童クラブの保育料見直しについては、職員体制など、総合的に検討していきたい。



児童クラブで楽しく遊んでいる子どもたち

問

3密状態を避け、1クラスの定員は20名程度が望ましいと、日本教育学会が見解を示している。子育て支援日本一を目指す町として取り組みを期待する。

【教育長】 県からは、定数以外にも教員の加配等の措置がある。町では独自に、各学校に学力向上支援員を配置するとともに、特別支援員を計画的に配置し、個に応じた指導の充実を図っている。

鳥獣被害

問 被害調査防止対策を

町長 捕獲や追い払い、罠を設置

【町長】 今年は熊など農作物被害が多いのではない。被害調査と防止対策は、具体的に何を行っているか。

【町長】 有害鳥獣の一斉捕獲や追い払い、農家への被害防止指導及び被害調査、熊などの罠の設置等を行っている。侵入防止柵設置の経費は、町独自の支援も検討したい。

職員の非違行為と副町長不在

問 早急に副町長を選任すべき

町長 必要なときにはお諮りして選任したい



問 前副町長が昨年7月に退任してから1年以上経つ。副町長不在の中、コロナ禍の中で現職員体制で行政業務を進めているが、支障はないか。

【町長】 細部の業務や予算執行等の管理は、それぞれの所管部署によるものが多く、支障はないと考えている。

問 非違行為の具体的な内容と町民が納得する説明を。

問

早急に選任すべきでは

町長 必要なときに選任したい

問 再発防止対策として、他市町村役場、民間企業等へ出向いての研修、講師を招いての研修等も必要に応じて行うべきと

思うがいかがか。

【町長】 職員一人ひとりのコンプライアンスを徹底的に図りながら、再発防止に取り組んでいきたい。

問

12月の定例会で町長は、町政への支障はないと答弁したが今回の不祥事が起きた。町長は真摯に反省し、早急に副町長を選任すべきでは。

【町長】 今回はその影響はないと考えているが、必要なときには議会にもお諮りしながら選任したい。



副町長は令和元年7月5日に退任して以来、不在となっています

検証 追跡

あの「検討します」は… どうなった？ ⑩

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

【子育て支援】

令和元年6月定例会

一般質問 から
Pick up!

問 軽米幼稚園への入園児童は減少傾向に
幼稚園存続をどう考えているか

答 認定こども園への移行を視野に入れて検討したい

その後は…

令和3年度4月から認定こども園に移行
町立軽米幼稚園は閉園に

【解説】

入園者数が減少傾向にあった町立軽米幼稚園の、令和2年度の入園者は1名。町は幼稚園の閉園を決断しました。幼保一元化により、令和3年度からは、軽米保育園の施設を利用した認定こども園が開園します。認定こども園開園にあたり、本年9月議会では施設の改修計画、人員配置など様々な質問や要望が出されました。議会は今後も、保護者が安心して通わせられる認定こども園になるよう、注視していきます。



8月13日、これまでの卒園アルバムの展示や発表会のビデオ上映など、閉園記念一般公開を行いました

議会のはてな？ しくみを教えて！ ⑭

住民の声を届ける 意見書

国や関係機関に要請

町政の発展に必要な事柄の実現を国や関係機関に要請するために、町議会の意思を決定し表明するもの。議員が法人格を持つていないため、請願・陳情を行う権限がないので、それに代わって認められた権限です。

議会での採択を経て

住民の声である請願・陳情があったとき、議会独自の意思に基づく場合に意見書は提出されます。「意見書の提出を求める請願・陳情」が採択された場合、その趣旨に沿った意見書を議員発案により本会議にはかり、審議の結果可決された場合、議長名で提出します。

対応を促す役割

意見書を国や関係機関等に提出することにより、町の課題を知ってもらい、対応を促しています。

町政調査会のコーナー

軽米病院の環境整備

7年目の今年も多数の参加

7年目を迎える環境整備も軽米町町政調査会（山本幸男会長）の議員12名のほか、シルバークの多数の方から参加していただき、木の剪定や草刈り等の作業を行いました。



7月18日



高く手が届かないところは高所作業車の作業をお願いしました



木の周りも丁寧に草刈り



刈り取った草も綺麗に片付けました

お幸せに ②



結婚しました！

おの でら だいすけ ゆかり
小野寺 大典さん（29）、紫さん（28）〔上新町〕
つむぎ
紬ちゃん（0歳9か月）

いつまでも笑って楽しく過ごせる
温かい家庭を築きたい

Q二人の出会いはい？

A同じ職場の同僚です。仙台市で勤務していたときに知り合い、そのあと秋田県に転勤したときも同じ職場で、一緒に遊びに行ったりすることが増えたのがきっかけです。

Qお互いの第一印象は？

A夫：なんでも一生懸命でかわいい
妻：真面目でおとなしい

Q二人の思い出の場所は？

A付き合ってから初めて2人で出かけたのが、青森県の弘前城でした。4月に桜を見に行きましたが、あいにくの雨だったのが残念でした（笑）

Q結婚生活をするにあたり町に求めることは？

A子どもを外で伸び伸びと遊ばせられる、広い場所が欲しいと思います。学校や保育園に入る前の子どもでも自由に出入りしやすい、みんなの共有スペースなどがあるような広い公園などがあるとありがたいです。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ②①

おおさき えつこ
大崎 悦子 さん

洋野町出身 30歳 (向川原)
夫・長女の3人家族



のぶゆき
夫・伸 幸 さん

長女・ひなた ちゃん

結婚を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
昨年、結婚を機に軽米町に来ました。今までは、毎年ナニヤドヤラ大会に出場するために年に1度訪れる程度でしたが、他にも1年を通して様々なイベントを開催していて、町おこしに力を入れているのだと感じました。今年は中止が相次ぎ残念です。

お母さん同士の交流

☞ 今、身の回りで関心があることは何ですか？
初めての育児で分からないことや大変に思うことがたくさんありますが、ぴよぴよ広場に行くといつも温かく迎えてくださり、お母さん同士情報交換や育児について共有できるのでとても助かっています。

気さくな会話に安心

☞ 他の市町村と比べると？
子どもの散歩中や買い物など、どこへ行っても気さくに話しかけてくださる方が多く、とても感謝しています。安心できますし、子どもにとっても伸び伸び成長できることにつながり、良いなと思います。他市町村と比べて若い方たちのイベントの出演が少ない気がします。私自身、吹奏楽団体に所属して他の市町村のイベントに出させてもらっていたので、軽米でもそういった方々が出てきたらいいなと思います。

屋外の公園や広場を

☞ 町づくりへの思いを一言
屋外でも子どもが自由に遊べる公園や広場があると良いと思います。遊具があれば小さい子どもが楽しく体を動かすことができますし、みんなが行きやすい場所だとお家の方々も助かると思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 令和2年10月28日発行 (No. 223)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長	中村 正志
副委員長	江刺 家静
委員	茶屋 幸隆
委員	山本 幸男
委員	田村 誠
委員	上山

軽米町議会だよりはこちら

